

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要					
事業開始年度				根拠法令・例規等	地方自治法等
総計	大項目	基本目標	06		
計画	中項目	基本施策	01		
	小項目	施策	14		
事務事業名				問 担当課(室)	総務部総務課行政係
				合 職・氏名	係長 山本光男
				先 電 話	0869-64-1807
				このシート作成に要した時間	
				0.5 時間	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	固定資産税の納税者
目 的 (何のために)	税務行政の適正な運営確保
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	審査申出に対する適正な審理、決定

事業の実績			優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	
	固定資産評価審査委員会事務	固定資産評価審査委員会を設置し、固定資産台帳に登録された価格に関する不服を審査決定する	

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算費	事業費	千円	40	22	48
	必要人員人件費	千円	0.03人	0.01人	0.01人
	事業費	千円	245	78	101
	事業費	千円	285	100	149
	事業費	千円			
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他()	千円			
一般	一般財源	千円	285	100	149
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	審査申出、決定件数	説明	1年間の審査申出、決定件数		
	結果指標量	件	0	1	0
	対前年比	%	-	-	0.0%
	活動コスト	円	285,000	100,000	149,000
	単位当たりコスト		#DIV/0!	100,000	#DIV/0!

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
審査申出に対する決定	目標値(A)	-	1	-	100
	実績値(B)	-	1	-	到達目標値
	達成率(B/A)	#VALUE!	100.00%	#VALUE!	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
(適正な手続を経た審理、決定÷申出件数)×100					

事務事業の評価	該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や善や低い や通やいい 高 低 い い B
効率性の評価	コスト 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や善や低い や通やいい 高 低 い い C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度 成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業についてはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や善や低い や通やいい 高 低 い い C

事業の目的やその数値目標を評価する

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	本年度は固定資産評価基準が見直されるため審査申出の提出が予想される。					

総合評価	
関係法令等で定められている事務である。	総合評価 A B C D E 高や善や低い や通やいい 高 低 い い C

平成25年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
取組目標	審査申出があれば適正な審理、決定を行っていく。					

Action